

やま さい じゆく 山 災 塾

<若者対象(中高生を含む)>

～災害ボランティア育成プロジェクト～



未来を担う子どもたちが、将来起こりうる自然災害に対しての正しい知識を持ち、自分の命・家族の命を自ら守ることができるようにすると共に、被災した後の復旧・復興への取組等を知ることにより、災害ボランティア活動及び平常時における地域での支え合いの大切さを理解し、自分にできることを考え、実践できる力を養うことを目的とします。

※開催日 令和元年6月9日、7月14日、8月11日、9月8日(すべて日曜日)

※開催場所 防府市文化福祉会館 福祉センター 3F 9号会議室

※主催 災害復興支援団体 山口災害救援

※協力団体 YDNT(山口県災害看護研究会)

※支援団体 公益財団法人 マツダ財団

※後援 (予定) 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

※-募集人数 40名(先着順) ※参加費無料 ※参加申込別紙

<山口災害救援とは>

平成17年の台風14号では、岩国地域で大きな洪水被害があり、美川町災害ボランティアセンター(設置:美川町社会福祉協議会・山口県社会福祉協議会)が設置されました。

この災害がきっかけとなり、現地に駆け付けたボランティアが、今後も一緒に災害ボランティア活動に取り組もうと、平成19年「山口災害救援」を結成し、ボランティア活動をしてきました。

現在は、災害支援ナース、気象予報士、社会福祉士、電気工事士、水産関係者、農業関係者、林業経験者など各分野の社会人だけでなく、大学生も入り、毎年、被災地で活動しています。

※概要

・第1回「災害とボランティアについて」

日程:6月9日(日) 午後1時～午後4時

災害にはどのようなものがあるのか、またどのような危険があり、どうすれば命を守れるのかを知る。さらには、被災者を支援する活動にはどのようなものがあるか、また被災したらどのような困りごと(ニーズ)があるのか、その困りごと(ニーズ)をどのように解決しているのかを知る。

・第2回「災害ボランティアセンターについて」

日程:7月14日(日) 午後1時～午後4時

災害発生後に設置される災害ボランティアセンターはどの様に立ち上げるのか、また災害ボランティアセンター内の運営方法はどの様になっているのかを知る。

・第3回「被災地での活動」

日程:8月11日(日) 日程は変更になる可能性があります

バスで被災地に行きます(日帰り・昼食各自持参)

<2019年に近県で大きな被害がなかった場合> 広島県呉市(予定)

- ・現地へ行き、被災された方の体験談を聞く
- ・第2回の事前学習で考えた企画を実施する

<2019年に近県で大きな災害があった場合> 近県の被災地域

- ・現地へ行き、災害ボランティア活動を行う

・第4回「わたしにできること」

日程:9月8日(日) 午後1時～午後4時

- ・これまでの学習を振り返り、災害に対してどのような備えや判断・行動が大切か、また自分自身が今からできることを考える。

申込用紙

山災塾 若者対象災害ボランティア育成プロジェクトに参加いたします。

住所

〒

氏名

男 ・ 女 年齢 才

連絡先(電話番号)

PC・携帯アドレス

18才以下の方は、保護者の承諾を得て参加してください。下欄に保護者氏名と連絡先をご記入ください。

また、個人情報は、用途以外には使用いたしません。研修会終了後に処分いたします。

保護者氏名

連絡先

申 込 方 法

※郵送の場合

〒742-0417

山口県岩国市周東町下 1862-10

災害復興支援団体 山口災害救援 事務局宛

※FAX の場合 0827-84-3457

※メール送信の場合

1192tukuroujapan@kpd.biglobe.ne.jp

問合先 080-1932-2934